

小学校【音楽科】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

岐阜教育事務所

1 主体的・対話的で深い学び（小学校学習指導要領解説 総則編 P77一部抜粋）

- 「主体的な学び」… 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。
- 「対話的な学び」… 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。
- 「深い学び」… 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

2 「音楽的な見方・考え方を働かせる」とは（小学校学習指導要領解説 音楽編）

児童が自ら音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、捉えたことと自己のイメージや感情、捉えたことと生活や文化などに関連付けて考えること。

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善例（☑児童の姿で確認し、工夫、改善する。）

※主体的・対話的で深い学びは、必ずしも単位時間の授業の中で全てが実現されるものではありません。

過程		【主体的な学び】	【対話的な学び】	【深い学び】
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を復習する。 必然のある学習課題を生み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題につながる「表現」を示す。 児童の願いから課題化を図る。 <p>☑願う表現や表現のよさを見いだすことに向けて、学習の見通し（視点、手立て、学び方）を立てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 示した「表現」について交流する場を設定する。 「表現」のよさを、全体で確認する。 <p>☑本時、出会った「表現」について、感じ取ったよさを交流し、共有、共感している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発言に、要素とその働きの視点から問い返し、分析的に示す。 <p>☑音楽的な見方・考え方を働かせ、「表現」のよさを、要素とその働きの視点で捉えている。</p>
深める	<ul style="list-style-type: none"> 個人の表現や考えをつくる。 仲間と共に表現や考えを広げたり深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 試行や交流の目的を明らかにする。 新たな視点や課題解決の手立てにつながる表現や考えを、全体で確認する。 <p>☑試行や交流を通して、新たな視点や課題解決の手立てに気づき、学習の見通しを調整している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて、個人で試行する場と集団で交流する場を設定する。 言語と表現によるコミュニケーションを推奨する。 <p>☑適切な集団規模による交流を通して、自身の表現や考えを広げたり深めたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思いや意図を視覚化できる教具やワークシートを用意する。 思考、判断、表現する過程となるよう働きかけ、見届ける。 <p>☑知識や技能を得たり生かしたりしながら、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりしている。</p>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 まとめの表現、鑑賞をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表現や考えを価値付ける。 <p>☑学習したことを振り返って、自身の学びや変容を自覚すると共に、次時の課題への見通しをもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学びや変容を伝え合う場を設定する。 <p>☑学習の過程を言語や表現を用いて伝え、相互評価する中で、互いの学びや変容を認め合っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りや評価の視点を示す。 <p>☑習得・活用・探究の具体から、本時の課題に正対した振り返りを行い、学んだことの価値をつかんでいる。</p>

生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力

「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養

